

## 令和3年度 議会事業取組評価（交流部会所掌分）

交流部会取組事項
<p>1 市民交流（市民参加及び市民連携）に関する取組み</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 各種団体との意見交換会</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 議会報告会（「議会報告会の実施方針」に基づくもの）</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 各種団体との意見交換会と新たな形での議会報告会との位置づけの整理</p> <p>2 ステップアップ市民会議からの提言に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者と市議会議員との交流を通じた政治との距離を縮めるような”場”の創出</li> <li>・ 若者の意見や考えが議会へのアプローチを通じて反映されるような参加・体験の仕組みの検討</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">(1) 学生との意見交換会</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 意見交換後の対応の仕組み、学生からの意見を議会として生かす仕組みの検討</p> <p>3 高校生との交流事業</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 松本工業高等学校 (2) エクセラン高等学校 (3) 梓川高等学校（実施校拡大）</p> <p>4 市民意見の把握に関する取組み</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) ステップアップ市民会議</p> <p>5 その他</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 研修会等 (2) 交流事業全体に関する申送り事項</p>

<p>1 市民交流（市民参加及び市民連携）に関する取組み</p>	
<p>(1) 各種団体との意見交換会（前年度継続事業）</p> <p>(2) 議会報告会（前年度継続事業）</p> <p>(3) (1)と(2)との位置づけの整理</p>	
<p>実施の概要・成果</p>	<p>課題・今後の取組み</p>
<p>(1) 松本地区保護司会との意見交換会</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 期日：11月26日（金）実施</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 方式：対面によるワールドカフェ</p> <p style="margin-left: 20px;">方式をベースとしたグループワーク</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 意見交換項目</p> <p style="margin-left: 40px;">(ア) 保護司の役割及び活動について</p> <p style="margin-left: 40px;">(イ) 活動の中での課題及び解決に向けて</p> <p style="margin-left: 40px;">(ウ) 再犯防止について</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 意見交換会における議論を契機と</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種団体との意見交換会は、令和4年度中に町会連合会との実施を検討する。</li> <li>・ 「議会報告会の実施方針」に基づく議会報告会（※別紙参照）を開催する。</li> <li>・ 議会報告会の検証を行う。</li> <li>・ 上記実施結果、検証結果を踏まえ、位置づけの整理。</li> <li>・ 委員会のテーマ研究に係る意見交換など交流部会所掌事業以外の取組みとの調整が必要。（令和元年度からの申送り）</li> </ul>

<p>して、松本地域保護司会活動拠点の確保についての請願が令和4年2月定例会に提出され、採択となった。</p> <p>(2) 部会内での議会報告会のデモンストレーションは、(1)の意見交換会の中で、ワールドカフェ方式をベースとしたグループワークとして実施</p>	<p>・取組みに関連した請願趣旨を実現するために、各会派等を通じて全議員が尽力する。</p>
---	--

2 ステップアップ市民会議からの提言に基づく取組み	
<p>(1) 学生との意見交換会（前年度継続事業）</p> <p>(2) 意見交換後の対応の仕組み、学生からの意見を議会として生かす仕組みの検討</p>	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>(1) 第3期ステップアップ市民会議からの提言に基づく取組みを検証中</p> <p>(2) 意見交換後の対応</p> <p>ア 振返りを実施し、結果を相手側に返す。</p> <p>イ 相手側の意向を確認し、希望があれば、対応をその都度検討する。</p> <p>(3) 令和3年度、信州大学学生との交流を検討したが、日程が合わず実施できなかった。</p>	<p>・引き続き提言に基づく取組みを実施・検証する。</p> <p>・意見交換後の対応として、振返り結果の送付等を行う。</p> <p>・意見交換相手の検討（信州大学、松本大学 他）</p>

3 高校生との交流事業	
<p>(1) 松本工業高等学校（前年度継続事業）</p> <p>(2) エクセラン高等学校（前年度継続事業）</p> <p>(3) 梓川高等学校（実施校の拡大）</p>	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>(1) 相手方</p> <p>ア 松本工業高等学校（12月）</p> <p>イ エクセラン高等学校（中止）</p> <p>ウ 梓川高等学校（2月）</p> <p>(2) 成果</p>	<p>・高校生と直接対話できる貴重な機会であり、継続して実施する。</p> <p>・高校生（市内）との交流については、原則、対面での実施とする。</p> <p>・交流後の対応として、振返り結果の送</p>

<p>ア コロナ禍の中での交流方法を模索し、松本工業高等学校とは対面で、梓川高等学校とはオンラインで、それぞれ交流を実施した。対面による有効性、オンラインでのメリット・デメリット等を実感することができた。</p> <p>イ 振返り結果の送付、詳細な事後回答、学校側の希望に沿った事後対応により、学校側の満足度が高かった。</p> <p>ウ 地域性の大きく異なる2校と交流することで、内容に地域性が顕著に反映され、多様な視点を捉えることができた。</p>	<p>付等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している高校の実施意向を確認しつつ、他の高校との交流を検討する。</li> <li>・より交流を深めるため、複数年度にわたって同一の生徒に対し、継続した交流会を行うか検討する。</li> </ul>
--	---

4 市民意見の把握に関する取組み（前年度継続事業）	
(1) ステップアップ市民会議	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ステップアップ市民会議からの提言に基づく取組み」を実践後、次期ステップアップ市民会議の開催を検討する。</li> <li>・ステップアップ市民会議の在り方について検討する。</li> </ul>

5 その他	
(1) 研修等	
(2) 交流事業全体に関する申送り事項	
実施の概要・成果	課題・今後の取組み
<p>(1) 研修等</p> <p>ア 交流事業におけるオンラインツール活用について（勉強会）</p> <p>(ア) 開催日 7月27日（火）</p> <p>(イ) 講師 NEC ネットズエスアイ（株）関東甲信越支社 甲信支店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる意見交換会を実施できるよう、練度を高めるよう実践的なデモやテストを行う。</li> <li>・必要な研修があれば、今後検討する。</li> </ul>

白濱 道夫 氏

- (ウ) 今後実施する交流事業において活用が想定されるオンラインツールについて具体的な留意点に係る知識を深めることができた。

イ ファシリテーション研修

- (ア) 開催日 10月28日(木)

- (イ) 講師 明治大学公共政策大学院  
ガバナンス研究科 研究科長・教授  
長畑 誠 氏

- (ウ) 松本地区保護司会との意見交換会で実施するグループワークに向けた対応を学び、本番で実践できた。

(2) 交流事業全体に関する申送り事項の実施

- ア 交流事業は、原則、対面で実施すること。(令和2年度からの申送り)

- イ 交流後の振返り等、事後対応を行うこと。また、事後対応を含め、交流事業のサイクルを検討する。(令和2年度からの申送り)

・ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、議会報告会等の市民交流を既にオンライン実施している先進市議会(藤沢市議会など)を調査・研究し、実施方針に基づく議会報告会の開催や、意見交換会等の位置付けの整理にも活用する。

(評価責任者) 交流部会長 牛丸 仁志

## 議会報告会の実施方針

別紙

### 【実施方針】

- ・ 以下の2パターンを参考に、全議員が1度は参加が出来るよう計画し、議会報告会を実施する。
- ※ パターン1で2グループ、パターン2で2グループなど組み合わせることも可能とする。
- ・ 実施後、検証を行い、今後の議会報告会の実施について、引き続き検討を行う。

項 目		パターン1	パターン2
対 象 者		各種団体	一般住民
方 式		ワールドカフェ方式により意見交換 20分の3ラウンド 1グループ6名を4グループつくる (基準：議員2名、住民4名) 1時間40分	ワールドカフェ方式により意見交換 20分の3ラウンド 1グループ6名を4グループつくる (基準：議員2名、住民4名) 1時間40分
参加者	住 民	4団体 (1団体16名位)	4カ所 (1カ所16名位)
	議 員	4グループ (1グループ8名)	4グループ (1グループ8名)
議 会 報 告		当日の参加者全員を対象に、始めの15分程度で、議会活動・市政課題の報告を行い、団体に合わせた内容で意見交換	当日の参加者全員を対象に、始めの15分程度で、議会活動・市政課題の報告を行い、議会報告と意見交換は関連のないテーマで意見交換
意見交換テーマ		各種団体と事前に調整して団体に合わせたテーマで意見交換 団体ごと、全グループ同じテーマで行う。	市の政策又は、地区の課題を基本にテーマは地区で選定してもらう。 団体ごと、全グループ同じテーマで行う。
開 催 時 期		8月～12月の間で相手の都合に合わせる	10月～11月
場 所		市役所・公民館等	地区公民館
ファシリテーター		議 員	議 員
周 知 の 方 法		団体と参加者を調整し、団体より周知	地区ごとに周知、公募、町会連合会を通じ参加者募集、人数調整は各地区に任せる

### 【参考（R元年度交流部会で検討されたその他の意見）】

- ・ 対象を委員会の所管事項に係る団体とし、調査研究テーマ等に係る内容などを報告。
- ・ ワールドカフェ方式により意見交換してはどうか（相手方の選定、実施時期、内容等は委員会に一任）。